



広島大学



# 大学院統合生命科学研究科 第20回 細胞生物学研究室セミナー

2022年12月14日（水）16:30～17:30

理学部 E 棟 209 号室

## 曾我部 隆彰 博士

自然科学研究機構 生理学研究所 細胞生理研究部門  
生命創成研究センター 温度生物学研究グループ 准教授

### 光と温度受容を担う情報伝達経路

生物は感覚機能を介して環境情報を取り込み、生体の機能や恒常性を調節しています。感覚受容の分子機構の研究は今世紀に入って飛躍的に進み、2021年のノーベル賞生理学・医学賞が「温度と触覚の受容体の発見」に与えられるなど、今注目を集めている研究分野です。私たちは最近、ショウジョウバエ成虫の光情報伝達経路において、長らく不明であった TRP チャンネルの活性化物質を発見しました。また、これまでにショウジョウバエ幼虫において、温度走性を制御する情報伝達経路を明らかにしました。これらの感覚受容プロセスでは、いずれもロドプシンと TRP チャンネルが機能しており、似通ったシグナル因子を用いながら全く異なる生理機能を担っています。本講演では、感覚受容体の多刺激受容性(マルチモーダル)の概念に焦点を当てて、私たちの最近の研究成果をご紹介します。

**\* 本セミナーは統合生命科学研究科プログラム共同セミナーの対象です。**

学部学生・大学院生・教員、参加自由です。

皆さまのご来場をお待ちしております。

連絡先：大学院統合生命科学研究科・生命医科学プログラム 細胞生物学研究室

千原崇裕（内線：7443） tchihara@hiroshima-u.ac.jp